

「メセナ アワード 2005」受賞活動の紹介

【メセナ大賞部門】

メセナ大賞	株式会社三越 日本橋三越本店を中心とした芸術・文化事業の展開
アートスタイル経営賞	株式会社板室観光ホテル大黒屋 自然と現代アートを融合させた斬新な旅館経営
児童文化賞	株式会社イトーヨーカ堂 子ども図書館の運営と「小さな童話」大賞の実施
服飾文化賞	財団法人京都服飾文化研究財団 「COLORS ファッションと色彩: VIKTOR&ROLF&KCI」展の開催
市民文化賞	株式会社信濃毎日新聞松本専売所 劇場「ピカデリーホール」による映像と舞台芸術活動への支援
文化財保存賞	財団法人住友財団 国内外の文化財維持・修復事業助成
アート情報文化賞	大日本印刷株式会社 ウェブサイト「DNP Museum Information Japan アートスケープ」の運営
地域文化賞	田苑酒造株式会社 「田苑酒蔵サロンコンサート」の実施
審査委員奨励賞	株式会社崎陽軒、ほか 8 団体* 「大倉山水曜コンサート」の継続的な運営支援 * 財団法人アサヒビール芸術文化財団、大倉山商店街振興組合、タカナシ乳業株式会社、 パナソニックモバイルコミュニケーションズ株式会社、財団法人はまぎん産業文化振興財団、 富士食品工業株式会社、矢島邦茂法律事務所、株式会社有隣堂

【文化庁長官賞部門】

文化庁長官賞	株式会社損害保険ジャパン アートを活かした地域活動 損保ジャパン東郷青児美術館 / 人形劇「稲むらの火」
--------	--

【本件に関するお問い合わせ先】	社団法人企業メセナ協議会 広報担当: 渡辺 / メセナ アワード担当: 戸沢 TEL: 03-3213-3397 FAX: 03-3215-6222 URL: http://www.mecenat.or.jp 〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-8-2 第一鉄鋼ビル 1 階
-----------------	---

【メセナ大賞】

株式会社三越

日本橋三越本店を中心とした 芸術・文化事業の展開

企業プロフィール

本社所在地	東京都中央区
業種	小売業
設立年	1904 年
資本金	374 億 406 万円
従業員数	7,904 人
http://www.mitsukoshi.co.jp/	

1904 年、日本初の「デパートメント」として誕生した三越は、同年、尾形光琳の展覧会を開催。以来、商品だけでなく娯楽や文化、新たなライフスタイルを提案する近代百貨店のモデルを築いてきた。

1927 年、関東大震災による修築工事にあわせて本店 6 階に三越ホールを開設。その後、大戦を経て「三越劇場」と改称。戦災で歌舞伎座はじめ多くの劇場が焼失したなかで「三越歌舞伎」を上演し、これまで若手役者の登竜門として 44 回の公演を重ねている。

ほかにも 50 年以上続いている定例の催しでは、古典芸能の重鎮が登場する「三越名人会」が 609 回、「三越落語会」が 527 回、「三越邦楽会」が 115 回を数える。また俳優座、民芸による演劇やファミリーミュージカルなど、幅広い客層に向けた演目もおこなっている。

一方で文化展は、本店 7 階の催事場をギャラリーにして、さまざまな内容で展開してきた。公立美術館に巡回する企画から小規模なものまで年間約 50 本もの展覧会が開催され、総来店者数の約 1 割の集客を誇っている。なかでも、1914 年から続いている春の「院展」と、毎年秋に開催する「日本伝統工芸展」は定番企画である。

2004 年、設立 100 年を迎えた三越が長年にわたり取り組んできた活動の意義は大きく、メセナの先駆けとしてこのたびの受賞となった。

【アートスタイル経営賞】
株式会社板室観光ホテル大黒屋
自然と現代アートを融合させた
斬新な旅館経営

企業プロフィール

本社所在地 栃木県那須塩原市
業種 サービス業
設立年 1952 年
資本金 2,000 万円
従業員数 50 人
<http://business1.plala.or.jp/daikoku/>

古くから「下野の薬湯」と称される板室温泉郷で 450 年以上の営みを続ける大黒屋は、ここ数十年「アートのある風景」を理念に掲げて、現代アートから発想する旅館経営に取り組んでいる。

現社長の室井俊二氏が家業を継いだのは 1986 年。老舗旅館に新たな息吹をもたらそうと、逗留客向けの保養マンションの建設と本館の改修を、村井正誠、菅木志雄、渡辺豊重ら現代美術作家とともに構想していった。本館正面の庭と屋根は菅が手掛け、裏庭には渡辺のユーモラスな彫刻作品、中庭には杉浦康益の陶の作品が立ち並び、ロビーや客室には村井の版画や水彩作品が配され、季節ごとに展示替えをして宿泊客の目を楽しませている。

また、マンション併設のギャラリー大黒屋や器のギャラリーでは、若手作家を中心に個展を開催。本館サロンでは、毎月 26 日に「音を楽しむ会」と題したミニコンサートを開き、「金継ぎの会」や「黄土染めの会」といった創作体験ができる企画も定期的におこなっている。

室井社長は旅館経営を、自らのセンスを提示することだと考える。独創性や革新性、知的好奇心を喚起する力、アートの発想に学ぶことは多いという。

【児童文化賞】
株式会社イトヨーカ堂
子ども図書館の運営と
「小さな童話」大賞の実施

企業プロフィール

本社所在地 東京都千代田区
業種 小売業
設立年 1958 年
資本金 479 億円
従業員数 48,208 人
<http://www.itoyokado.co.jp/>

イトヨーカ堂が店舗の一角に子ども図書館を設けたのは 1978 年、静岡の沼津店が最初である。書架に並ぶのは、絵本や童話の類から科学や郷土史など、幼児から中学生までを対象に選ばれた本が約 8,000 冊。利用者登録すれば誰でも閲覧・貸出しができる。スタッフとして専任の司書が勤務しており、読み聞かせの会や工作会なども随時開催。そのほか、幼稚園や学級文庫に本や人形劇セットを無料で貸出すなど、地域に根付く活動を継続している。

沼津店に続き、安城店や秋田店など全国 11 店舗で開設。いまや全館の登録者数 37 万人、本の貸出し累計 914 万冊にもなる。

一方の「小さな童話」大賞は 83 年、毎日新聞社との共催によりスタート、2004 年で 22 回を数える童話コンクールである。

昨年の応募数は約 5,400 編、そのなかから大賞はじめ 12 編を選出。大賞作品については毎日新聞に全文掲載されるほか、入賞作品とともに冊子としてまとめられる。また作品募集期間中には、4 名の選者(落合恵子、角野栄子、山本容子、俵万智)による「童話サロン」が各地で開催され、童話創作に挑む多くの人を励ましている。

【服飾文化賞】
財団法人京都服飾文化研究財団
「COLORS ファッションと色彩：
VIKTOR&ROLF&KCI」展の開催

団体プロフィール

財団所在地 京都府京都市
業種 財団
設立年 1978 年
基本財産 23 億 5,310 万円
職員数 16 人
<http://www.kci.or.jp/>

京都服飾文化研究財団(KCI)は、17 世紀以降の西欧衣装および関連資料・文献を体系的に収集し研究、公開する機関として、1978 年、ワコールの出捐により設立された。現在、服・アクセサリー類 11,196 点、文献資料 13,845 点を有する。この世界的に見ても希少価値の高いコレクションの公開と研究成果の発表の場として、数年に一度、大規模な展覧会を企画している。

2004 年、京都国立近代美術館と森美術館で開催された本展は、ファッションにおける色彩に焦点をあて、作品収集と研究に 5 年の歳月をかけて開催に至ったものである。ゲストキュレーターにオランダの 2 人組デザイナー、ヴィクター & ロルフを迎え、彼らのコレクション・ショーの映像と作品、KCI の所蔵品から選んだ衣服を中心に計 87 点を展示。衣服と色彩の関係を見つめ直し、その背景にある社会的要因や時代の文化を検証した。

会期中にはセミナーや講演会などを開催するほか、草木染め体験などのイベントも実施。さらに京都展では小学校の総合的学習の授業として、子どもたちのデザインによるファッションショーをおこなうなど、幅広い層に衣服と色彩の魅力を伝えた。

【市民文化賞】**株式会社信濃毎日新聞松本専売所
劇場「ピカデリーホール」による
映像と舞台芸術活動への支援**

企業プロフィール

本社所在地 長野県松本市
業種 小売業
設立年 1964年
資本金 1,000万円
従業員数 120人
<http://www.matusen.co.jp/>

信濃毎日新聞松本専売所は、1999年、旧市街地で廃業した映画館ピカデリーを買い受け、劇場「ピカデリーホール」に改めて、その運営に乗り出した。社長の西堀恒司氏は、87年に始まった「松本演劇フェスティバル」（現・まつもと演劇祭）の中心メンバーである。

施設の補修・改装は、地元演劇人や市民のボランティアの手でおこなわれた。映画スクリーンはそのままに、もと1階の部分に舞台を設置、2・3階席をベンチシートに取り替えて240の客席を設えた。照明や音響などの機材は近隣の廃校や閉鎖した公民館から譲り受けるなどし、充実した小劇場空間に生まれ変わった。

以来、地元からは「自分たちの劇場」として愛され、演劇や映画、コンサートなどに使われるほか、ホール主催の演劇教室や映画会、コミュニティシネマや「まつもと演劇祭」の拠点として大いに活用されている。また、利用者の使いやすさを最優先した運営も、このホールの魅力だ。公演の一週間前から稽古が可能で、連日深夜まで舞台づくりができる。備品使用料は原則無料、ホール使用料も相談に応じてくれる。演劇創造の拠点として、熱い期待が寄せられている。

【文化財保存賞】**財団法人住友財団
国内外の文化財維持・
修復事業助成**

団体プロフィール

財団所在地 東京都港区
業種 財団
設立年 1991年
正味財産 199億7,125万円
職員数 8人
<http://www.sumitomo.or.jp/>

住友財団は1991年、住友グループ20社の基金拠出により設立された多目的の助成財団である。基礎科学研究や環境研究などへの助成とともに、国内外の文化財維持・修復事業助成に取り組んでいる。

国内では、芸術的・学術的価値が高く、後世に継承すべき美術工芸品を対象に公募。全国の寺社や博物館からの申請がほとんどで、国の重要文化財や自治体の有形文化財に指定されながらも、修復費の自己負担が大きいため着手できずいたという案件が多い。文化財としての重要性や修復の緊急度などから選考しており、欠損が著しかった貴重な文化財が各地で蘇り、一般に公開されている。

海外については、美術工芸品と遺跡の維持・修復およびその事前調査を対象としている。各国の東洋美術館にも呼びかけ、大英博物館などが所蔵する日本美術品について、日本での修復や現地に技術者を派遣しての修復作業を助成してきた。またアンコール遺跡やベトナム・ホイアンの町並みなど、これまでにアジア、アフリカ、ヨーロッパ、中南米の21ヶ国で実績を残してきた。

財団設立以来14年間の助成件数は、国内209件、海外43件、金額にして9億5,500万円余におよぶ。

【アート情報文化賞】**大日本印刷株式会社
ウェブサイト
「DNP Museum Information Japan
アートスケープ」の運営**

企業プロフィール

本社所在地 東京都新宿区
業種 印刷業
設立年 1876年
資本金 1,144億6,400万円
従業員数 9,013人
<http://www.dnp.co.jp/artscape/>

ウェブサイト「アートスケープ」は、大日本印刷が1993年から始めた美術館メディア研究会を機にスタートした。日本におけるインターネットの黎明期から10年余にわたり、美術に特化した老舗のウェブサイトとして情報の拡充に努めてきた。

「アートスケープ」のコンテンツは4部門で構成される。美術館の展覧会情報を中心に、全国の学芸員のレポートや美術ジャーナリストによる批評等を掲載する「展覧会情報」。旬のアートスポットや美術館のIT関連情報を提供する「アートレポート」。美術関連用語の解説やデジタルアーカイブ用語集をはじめ、全国1,300館を超える美術館データベースを網羅した「アートライブラリー」。読者の投稿による展覧会情報や招待券などをプレゼントする「読者コーナー」。

月2回の情報更新とともに、約5,000人の読者にメールマガジンを配信。美術情報を多面的かつ集約的に紹介するサイトとして多くの人々に支持され、月間のアクセス数は100万を超える。

今後、ブロードバンド環境に即した情報提供の方法を模索するとともに、日本の総合的な美術情報サイトとして、海外からのアクセスへの対応を充実させていく方針だ。

【地域文化賞】**田苑酒造株式会社****「田苑酒蔵サロンコンサート」の実施**

企業プロフィール

本社所在地	鹿児島県薩摩川内市
業種	食料品
設立年	1890 年
資本金	2 億 4,400 万円
職員数	126 人
http://www.denen-shuzo.co.jp/	

鹿児島市内から北西に車で約 50 分、山間にのどかな風景が広がる樋脇町に田苑酒造はある。明治 23 年に創業した焼酎メーカーで、主力商品「田苑」の樽貯蔵麦焼酎は、原酒の入った櫛樽にクラシック音楽の振動を伝えて熟成させる。1991 年にこのシステムを導入して以来、工場には 24 時間クラシック音楽が流れるようになった。

「田苑酒蔵サロンコンサート」は、92 年にスタートした。工場に隣接する古い酒蔵(1776 年建造)を会場に、春と秋の年 2 回、日曜日の午後にコンサートが催される。出演者は鹿児島出身の若手演奏家を中心に独自のネットワークで探し出し、企画している。

酒蔵の空間は 350 人も入れれば満員だが、ステージと客席が一体となった和やかな雰囲気醸し出される。前日から社員総出で蔵を片付け、椅子を並べて会場づくりをする。当日も、会場整理から受付、司会まですべて社員で分担。コンサートは昼過ぎの開演だが、2 時間前からお客さんは集まってくる。そこで希望者には工場見学や焼酎の試飲を案内し、休憩時間にはお菓子やふかし芋を振る舞う。

すべてが手づくりのコンサートは、リピーター率 8 割を超える地域の恒例イベントとして定着している。

【審査委員奨励賞】**株式会社崎陽軒、ほか 8 団体*****「大倉山水曜コンサート」の継続的な運営支援**

* 財団法人アサヒビール芸術文化財団、大倉山商店街振興組合、タカナシ乳業株式会社、パナソニックモバイルコミュニケーションズ株式会社、財団法人はまぎん産業文化振興財団、富士食品工業株式会社、矢島邦茂法律事務所、株式会社有隣堂

企業プロフィール[株式会社崎陽軒]

本社所在地	神奈川県横浜市
業種	食料品
設立年	1908 年
資本金	3 億 4,000 万円
従業員数	600 人
http://www.kiyoken.com/	

「大倉山水曜コンサート」は、横浜市の指定有形文化財である大倉山記念館で、毎週水曜日の夜に開催される音楽会である。大倉山公園にあるギリシャ神殿風の瀟洒な建物は、1932 年建設、84 年に市の施設として公開された。その 3 階にある 80 人定員の小さなホールで、「水コン」の愛称で親しまれるコンサートが催されている。

当初は横浜市の主催として始まったが、一年後にはすべての運営を市民ボランティアに委ねる。若手演奏家に発表の機会を提供し市民に廉価で良質な音楽を提供するという目的で継続。市はホールの無料提供と事務局支援を担い、87 年からは地元企業や商店街からの協賛を得ていくようになる。93 年には、運営基盤を強固なものにすべく理事会が発足。三代目理事長を務める崎陽軒の野並豊会長は協力支援者を束ね、堅実なサポート体制を整えている。

「水コン」は、ベテランを招く企画コンサートと、登録演奏家によるコンサートのふたつの柱からなる。プログラム内容も多彩で、クラシック音楽を中心に古楽や邦楽、ジャズや民族音楽までバラエティーに富んでいる。2005 年 5 月に 1,000 回を迎えた「水コン」、これまでの出演アーティストは 3,600 人を超えている。

【文化庁長官賞】**株式会社 損害保険ジャパン****アートを活かした地域活動****損保ジャパン東郷青児美術館 / 人形劇「稲むらの火」**

企業プロフィール

本社所在地	東京都新宿区
業種	保険業
設立年	1944 年
資本金	700 億円
従業員数	14,705 人
http://www.sompo-japan.co.jp/	

損保ジャパンでは、1976 年に東京本社ビルに「損保ジャパン東郷青児美術館」を、89 年に名古屋ビルに人形劇場「ひまわりホール」を開設。地域に開かれた文化施設として運営するとともに、社員が鑑賞する機会を設け、活動への理解と協力を得てきた。

93 年からは、社員の社会貢献活動を支援する「ちきゅうくらぶ」を組織。社員が各地で自主的に活動しており、メンバーの任意で給料から集めたファンドをボランティア活動費や寄付等に役立てている。

この「ちきゅうくらぶ」の発想とネットワークが、美術館やひまわりホールの活動に広がりを持たせている。美術館では、社内の手話講習会の経験を活かした「聴覚・視覚障害者との鑑賞会」を開催したり、地元の心身障害学級の作品展を 1 階ロビーでおこなっている。

人形劇活動では、毎秋ひまわりホールで開催される「パペットフェスティバル」の運営をサポート。また人形劇団と協力して、障害児施設での公演や神戸で被災した子どもたちに人形劇を届けている。

また静岡では、社員が地元の人形劇団と連携して、津波を扱った実話「稲むらの火」の人形劇プロジェクトを企画。県内で公演するほか 2005 年の国連防災会議で上演し、大きな反響を呼んだ。